

記録
フィルム
カラー／40分

- 企画
(財)ボーラ伝統文化振興財団
- 監修
小笠原小枝 (日本女子大学教授)
- 撮影協力
ルバース・吟子
宮平工房 アトリエル
ルバース 伊野波盛
正 沖縄県立博物館
那覇市歴史資料室
沖縄県立芸術大学
首里城公園管理センター 沖縄戦記録フィルム1フィート運動の会 東京国立博物館 日本民藝館

スタッフ

- 製作
村山正実 山本孝行
- 脚本・演出
村山正実
- 撮影
西山東男
- 撮影助手
今野聖輝 新藤多門
- 照明
本橋俊男
- 効果
帆苅幸雄
- 録音
荒井富保 堀内戦治
- 編集
吉田栄子
- ネガ編集
加納宗子
- 選曲
山崎 宏
- 現像
IMAGICA
- 解説
杉本るみ

文部科学省特選 2003年教育映像祭最優秀作品賞・文部科学大臣賞
毎日映画コンクール記録文化映画賞 日本紹介映画・ビデオコンクール奨励賞 優秀映画観賞会推薦

2003年キネマ旬報文化映画ベスト・テン第4位

太平洋戦争の惨禍と戦後の荒廃の中で、失われた伝統織物、「首里の織物 (しゅりのおりもの)」の復興に尽くし、独自の工夫を重ねて現代によみがえらせた染織家・宮平初子 (みやひらはつこ)、重要無形文化財保持者 (人間国宝)。

花倉織 (はなくらおり) を中心に7種の高度な技法を再現した。その卓越した技能と人柄を沖縄の歴史や風土もまじえながら紹介する。



沖縄の「紅型 (びんがた)」という染めはよく知られているが琉球王府の「首里の織物」はよく知られていない。「首里の織物」は琉球王府の時代には、王家や士族が着用した格調高い織物である。もともと33種類ぐらいあったらしいが、そのうち1973年 (昭和48年) までに7種類が宮平初子の手で復元され、その後さらに2種類が追加された。

映画では絣 (かすり) である「手織り」と浮織 (うきおり) の「花織 (はなおり)」の二つの制作工程をおよそ半年間追った。